

教科目名 情報リテラシー (Information literacy)

学科名・学年 : 機械工学科 2年

単位数など : 必修 1単位 (後期 1コマ, 授業時間 22.5時間)

担当教員 : 徳安達士

授業の概要			
現代の情報社会においては、コンピュータ操作やコンピュータを使った情報伝達技術は、技術者には不可欠な技量となっている。情報リテラシーでは、Microsoft Windows XP 環境におけるパソコンの基本操作、コンピュータの構成概念、情報社会の成り立ちなどの導入を行い、続いて電子メールの使い方から Microsoft Office を使った表計算やグラフ表示、PowerPoint を用いた効果的なプレゼンテーション資料の作成および発表技術を身につける。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) 情報社会の成り立ちを理解し、全世界をつなぐインターネットの概念を理解できる。(課題演習)			
(2) マナーに配慮した電子メールの使い方を理解し、メールを使ったコミュニケーションができる。(課題演習)			
(3) Excelを用いて表計算やグラフの作成方法を理解できる。(課題演習)			
(4) PowerPointを用いてプレゼンテーション資料を作成できる(課題演習)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
			【試験の点数】 点
			【理解の度合い】
			【試験の点数】 点
1	情報社会の成り立ち		【理解の度合い】
2	情報リテラシーとは		
3	コンピュータの基本概念		
4	電子メールの操作方法		
5	Microsoft Excel 2010 導入 データ入力と編集		
6	関数導入		
7	図表の作成		
8	グラフの作成		
9	総合演習		
10	Microsoft PowerPoint 2010 導入		
11	効果的なプレゼンテーション作成法		
12	発表資料を模倣してみる		
13	発表チーム毎のテーマ決定		
14	資料作成		
15	発表		
履修上の注意	電子メールや表計算、発表資料作成に関する知識は今や一般常識となっています。自分たちの将来を見据えて、就職および進学を見据えてスキルアップしてください。 試験期間中の 2 回の授業 (第 8 回, 第 15 回) は補講日に実施します。		【総合達成度】
教科書	担当教員が作成した資料を配布する。		
参考図書	なし		
自学上の注意	希望者には個人で所有する PC に Office を無償でインストールできます。Office を学べる絶好の機会ですので、自宅学習を積極的に行い、応用力を養って下さい。定期試験は行いませんので、演習課題を期日までに必ず提出するようにして下さい。		【総合評価】 点
関連科目	情報処理 I, 情報処理 II, メカトロニクス I II, 郊外実習, 卒業研究		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、演習課題で評価する。レポート・課題の提出により評価する。再試験は実施しないので、授業に真面目に取り組むこと。		